

| | | | | |
|--|--|-------------------|----|----------|
| 柴田 近 内藤広郎 舟山裕士 福島浩平 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | ileo-jejunal transposition の回腸平滑筋収縮に対する効果. | 第103回日本外科学会定期学術集会 | 札幌 | 6 (2003) |
| 橋本明彦 舟山裕士 内藤広郎 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 小川 仁 上野達也 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | 回腸肛門(管)吻合後の pouchitis における診断と治療の問題点. | 第103回日本外科学会定期学術集会 | 札幌 | 6 (2003) |
| 長尾宗紀 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 北山 卓 西條文人 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | 難治性腸疾患に対する長期の在宅中心静脈栄養療法の問題点. | 第103回日本外科学会定期学術集会 | 札幌 | 6 (2003) |
| 渡辺和宏 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 佐々木 巖 | 潰瘍性大腸炎における回腸肛門吻合術後の排便機能についての検討. | 第103回日本外科学会定期学術集会 | 札幌 | 6 (2003) |
| 羽根田祥 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 上野達也 北山 卓 長尾宗紀 渡辺和宏 佐々木 巖 | 回腸肛門吻合における術後合併症の検討. | 第103回日本外科学会定期学術集会 | 札幌 | 6 (2003) |

| | | | | |
|--|--|-------------------------|----|----------|
| 渡辺和宏 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 佐々木 巖 | 難治性の pouchitis のため pouch 切除術を施行した潰瘍性大腸炎の 1 例. | 第 20 回 IBD Club Jr. 研究会 | 東京 | 6 (2003) |
| 内藤広郎 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 菊地克子 | 潰瘍性大腸炎患者における皮膚の厚さ測定 の意義. | 第 58 回日本消化器外科学会総会 | 東京 | 7 (2003) |
| 舟山裕士 | 次の症例の best treatment は?. (消化管) (パネルディスカッション) | 第 58 回日本消化器外科学会総会 | 東京 | 7 (2003) |
| 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 長尾宗紀 西條文人 羽根田 祥 渡辺和宏 佐々木 巖 | Crohn 病における回腸結腸吻合部の再発と再 発様式の検討: 手縫い吻合と器械吻合との比 較. | 第 58 回日本消化器外科学会総会 | 東京 | 7 (2003) |
| 柴田 近 舟山裕士 福島浩平 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | 潰瘍性大腸炎に対する回腸肛門吻合術後の 排便機能における肛門内圧検査の有用性. | 第 58 回日本消化器外科学会総会 | 東京 | 7 (2003) |
| 高橋賢一 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 佐々木 巖 | 炎症性腸疾患におけるストーマ合併症の検 討. | 第 58 回日本消化器外科学会総会 | 東京 | 7 (2003) |

| | | | | |
|---|---|--|---------|-----------|
| 長尾宗紀 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 羽根田 祥 渡辺和宏 工藤克昌 松野正紀 佐々木 巖 | 回腸瘻閉鎖術における抗生剤投与法の創感 染予防効果に関する Prospective Randomized Study. | 第 58 回日本消化器外科学会総会 | 東京 | 7 (2003) |
| 羽根田祥 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 上野達也 長尾宗紀 渡辺和宏 佐々木 巖 | 直腸肛門周囲瘻孔を合併し外科治療を行っ た潰瘍性大腸炎の検討. | 第 58 回日本消化器外科学会総会 | 東京 | 7 (2003) |
| 高橋賢一 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 上野達也 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 工藤克昌 佐々木 巖 | ストマ造設後の Crohn 病患者における妊 娠・出産に際しての諸問題点—当科における 経験より—. | 第 17 回東北ストーマリハビリテ ーション研究会 | 仙台 | 8 (2003) |
| 福島浩平 舟山裕士 高橋賢一 羽根田 祥 北山 卓 渡辺和宏 柴田 近 佐々木 巖 | 大腸全摘術後の残存小腸の上皮細胞発現遺 伝子プロフィール. | 潰瘍病態研究会第 12 回フォー ラム | 東京 | 8 (2003) |
| Naito, H. Funayama, Y. Fukushima, K. Shibata, C. Hashimoto, A. Sasaki, I. Kikuchi, K. | Functional Changes of stratum corneum of the skin induced by long term steroid administration and creation of ileostomy in patients with ulcerative colitis. | 104th Annual Meeting of American Gastroenterological Association | Orlando | 5 (2003) |
| Fukushima, K. Funayama, Y. Ogawa, H. Takahashi, K. Sasaki, I. | Decreased exprerssion of syncollin mRNA in colonic epithelial cells of bacteria-challenged germ-free mice and ulcerative colitis. | 104th Annual Meeting of American Gastroenterological Association | Orlando | 5 (2003) |
| 柴田 近 舟山裕士 佐々木 巖 | 十二指腸カプサイシン感受性神経による胃 の空腹期強収縮の制御 ワークショップ: 消化器疾患と神経系: その 相互関係から見えるもの. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10 (2003) |

| | | | | |
|--|---|----------------|----|----------|
| 高橋賢一 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 佐々木 巖 | 中心静脈栄養用皮下埋込みポートの感染によって著名な血小板減少を呈した2例. | 第45回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10(2003) |
| 福島浩平 舟山裕士 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 佐々木 巖 | 高アルドステロン血症は大腸上皮に 11 β -hydroxysteroid dehydrogenase type2 (11-beta HSD2) を誘導する. | 第45回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10(2003) |
| 長尾宗紀 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 羽根田 祥 渡辺和宏 内藤広郎 松野正紀 佐々木 巖 | α 2 受容体拮抗剤による giant migrating contraction (GMC) 誘発の作用機序: 外来性神経と結腸内容物の役割. | 第45回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10(2003) |
| 渡辺和宏 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 佐々木 巖 | 潰瘍性大腸炎における回腸肛門吻合術後の排便機能についての検討. | 第45回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10(2003) |
| 羽根田 祥 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 北山 卓 西條文人 長尾宗紀 渡辺和宏 小林 直 佐々木 巖 | 直腸膿瘍を合併した潰瘍性大腸炎に手術が著効を示した1例. | 第45回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10(2003) |

| | | | | |
|--|---|-------------------|-----|-----------|
| 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 佐々木 巖 | 高齢者（50 才以上）潰瘍性大腸炎患者の術後の Quality of Life の検討. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10 (2003) |
| 橋本明彦 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 小川 仁 上野達也 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | 回腸直腸吻合術後残存直腸に発癌を来した家族性大腸腺腫症の検討. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10 (2003) |
| 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 工藤克昌 佐々木 巖 | 病態と長期成績から見た Crohn 病に対する外科治療の選択. シンポジウム：クローン病の治療とその成績 | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |
| 福島浩平 舟山裕士 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 工藤克昌 内藤広郎 佐々木 巖 | 重症潰瘍性大腸炎に対する外科治療の現状. パネルディスカッション：重症炎症性腸疾患への対応：外科から内科か. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |
| 柴田 近 舟山裕士 福島浩平 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 工藤克昌 松野正紀 佐々木 巖 | 潰瘍性大腸炎に対する回腸肛門吻合術後の排便状況：特に経過期間、肛門内圧との関連. ワークショップ：肛門温存術式とその術後機能 | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |

| | | | | |
|---|--|-------------------|-----|-----------|
| 高橋賢一 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 工藤克昌 佐々木 巖 | 炎症性腸疾患におけるストーマ合併症とその対策. ワークショップ: ストーマ合併症とその対策 | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |
| 渡辺和宏 舟山裕士 福島浩平 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 野口光徳 木内喜孝 佐々木 巖 | サイトメガロウイルス感染を伴う重症潰瘍性大腸炎 6 手術例の検討. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |
| 橋本明彦 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | 潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸肛門吻合術における腹腔鏡手術、HALS、開腹手術の比較検討. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |
| 羽根田祥 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 北山 卓 西條文人 長尾宗紀 渡辺和宏 木内喜孝 佐々木 巖 | 直腸肛門周囲瘻孔を合併し外科治療を行った潰瘍性大腸炎の検討. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |
| 長尾宗紀 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 羽根田 祥 渡辺和宏 工藤克昌 松野正紀 佐々木 巖 | 回腸瘻閉鎖術における抗生剤投与法の巣感染予防効果に関する Prospective Randomized Study. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11 (2003) |

| | | | | |
|--|--|---|---------|-------------------------|
| 廣野 玄 味岡洋一 他 | 大腸蠕虫状腺腫の胃幽門腺型粘液形質の検討. | 第 92 回日本病理学会総会 | 福岡 | 4. 25 (2003) |
| 味岡洋一 | 教育講演「大腸癌の発育進展を見直す」. | 第 89 回日本消化器内視鏡学会総会 | 大宮 | 4. 26 (2003) |
| 中村 守 和田陽子 菊池陽介 櫻井俊弘 松井敏幸 八尾恒良 田邊 寛 原岡誠司 岩下明德 | “amyloid colitis” を呈した原発性 AL 型アミロイドーシスの 1 例. | 第 45 回日本消化器病学会総会 | 大阪 | 10. 15-10. 18 (2003) |
| 萱原隆久 澤田光孝 千葉 勉 | 小腸粘膜における幹細胞の同定とその維持・分化に関わる転写因子・RNA 結合蛋白の解析. シンポジウム (5) : 消化器疾患における再生医療の展望 | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 24 (2003) |
| 若月芳雄 千葉 勉 | 管腔内微生物性抗原特異的 T 細胞の移入により発起される潰瘍性大腸炎様モデルの確立と腸炎抑止機構の解明. ワークショップ (2) : 逆流性食道炎 : 難治例の病態と治療 | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 24 (2003) |
| 玉置敬之 松浦 稔 吉澤はづき 大橋真也 福井寿朗 川崎公男 岡崎和一 千葉 勉 | ヒトマクロファージに対する Mycobacterium paratuberculosis の感染と血中 GST-IS900 抗体価の意義. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 25 (2003) |
| Watanabe, T. Yoshida, M. Chiba, T. Wakatsuki, T. | Cd4+Cd25+ Regulatory T Cells Inhibit Antigen-Specific Colitis by Altering The Localization of Colitogenic Cd4+T Cells. | Digestive Disease Week and the 104th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association | Orland, | 5. 20 (2003) |
| Fujii, S. Kitajima, K. Takeda, J. Omotehara, F. Ohkura, Y. Ono, Y. Imura, J. Kawamata, H. Chiba, T. Fujimori, T. | Development of colonic neoplasia in p53 deficient mice with Experimental colitis induced by dextran sulfate sodium. | Digestive Disease Week and the 104th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association | Orland | 5. 20 (2003) |
| Tamaki, H. Okazaki, K. Matsuura, M. Ohana, M. Iwano, M. Uchida, K. Nishi, T. Asada, M. Kawasaki, K. Fukui, T. Yoshizawa, H. Ohashi, S. Nakamura, H. Chiba, T. | Mice Overexpressing Thioredoxin-I Have a Decreased Susceptibility to Dextran Sodium Sulfate-Induced Colitis. | Digestive Disease Week and the 104th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association | Orland | 5. 20 (2003) |

| | | | | |
|--|---|---|---------|--------------------|
| Kayahara, T. Sawada, M. Takaishi, S. Fukui, S. Seno, H. Suzuki, K. Chiba, T. | Musashi-1 and Hes1 are Expressed in Crypt Base Columnar Cells in Mouse Small Intestine. | Digestive Disease Week and the 104th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association | Orland | 5. 20 (2003) |
| Matsuura, M. Okazaki, K. Tabata, Y. Ohana, M. Uchida, K. Nishi, T. Asada, M. Kawasaki, K. Fukui, T. Tamaki, K. Iwano, M. Yoshizawa, H. Ohashi, S. Chiba, T. | Therapeutic Effects of Basic Fibroblast Growth Factor in Dextran Sulfate Sodium-Induced Murine Colitis. | Digestive Disease Week and the 104th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association | Orland | 5. 20 (2003) |
| 藤井茂彦 藤盛孝博 千葉 勉 | estrogen receptor を対象にした methylation の検索は潰瘍性大腸炎癌化の危険因子として有効である。(ワークショップ) | 第 66 回日本消化器内視鏡学会総会 第 45 回日本消化器病学会 | 大阪 | 10. 16 (2003) |
| 藤井茂彦 武田 純 喜多嶋和晃 奥山 隆 富永圭一 市川一仁 寺元忠久 大倉康男 小野祐子 井村穰二 川又 均 千葉 勉 藤盛孝博 | 胃瘍性大腸炎癌化の危険因子としての estrogen receptor methylation の検討。(ポスター) | 第 62 回日本癌学会総会 | 名古屋 | 9. 25 (2003) |
| Nishio, A. Tamaki, H. Nakamura, H. Yodoi, J. Okazaki, K. Chiba, T. | Effects of Thioredoxin-1 on Dextran Sulfate Sodium-Induced Murine Colitis. | Colloquium for the Study of Gastrointestinal Defense System | 大阪 | 1. 10 (2004) |
| 河内屋友宏 中村志郎 松本誉之 | 腸型ペーチェットにおける上部消化管病変の内視鏡的検討. | 第 65 回日本消化器内視鏡学会総会 | 福岡 | 5. 29 (2003) |
| 渡辺憲治 押谷伸英 松本誉之 | 難治性クローン病に対する抗 TNF- α 抗体療法。(シンポジウム) | 第 80 回日本消化器病学会近畿支部例会 | 大阪 | 2. 21 (2004) |
| Ohmori, S. Kinouchi, Y. et al. | Association between polymorphisms in the IKBL gene and ulcerative colitis in Japan. | 104 th annual meeting of American Gastroenterological Association. | Orlando | 5. 17-22 (2003) |
| Noguchi, M. Oikawa, S. Kinouchi, Y. et al. | High producer of lipoprotein (A) show a poor prognosis in patients with Crohn's disease. | 104 th annual meeting of American Gastroenterological Association. | Orlando | 5. 17-22 (2003) |

| | | | | |
|--|--|---|---------|--------------------|
| Matsumoto, K. Kinouchi, Y. et al. | HLA-DQB1 genotype is strongly associated with ileal Crohn's disease in Japan. | 104 th annual meeting of American Gastroenterological Association. | Orlando | 5. 17-22 (2003) |
| Shiraki, M. Aihara, H. Kinouchi, Y. et al. | IL-12 p40 prevents the development of chronic enterocolitis in IL-10 deficient mice. | 104 th annual meeting of American Gastroenterological Association. | Orlando | 5. 17-22 (2003) |
| 小島康弘 木内喜孝 他 | 第 6 染色体短腕に存在するクローン病感受性遺伝子座位の絞込み (第 2 報) . | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 26 (2003) |
| 杉村美華子 木内喜孝 他 | 炎症性腸疾患感受性候補遺伝子 MICA 遺伝子とクローン病との関連について. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 26 (2003) |
| 佐藤雄一郎 高木承 白木 学 野村栄樹 杉村美華子 大森信弥 廣木美佳 菊地達也 沖元二 川端和歌子 松本桂輔 小島康弘 宇都宮恭子 相原裕之 高橋成一 木内喜孝 下瀬川徹 | 抗 TNF α 抗体が奏功したクローン病の 5 例一内瘻合併 2 例を含めて一. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 26 (2003) |
| 大森信弥 木内喜孝 他 | IKBL 遺伝子内多型と日本人炎症性腸疾患との相関について. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10. 15 (2003) |
| 横山大 高木承 宇都宮恭子 杉村美華子 白木 学 持田淳弘 土佐正規 阿部浩子 今井豪 佐藤雄一 野村栄樹 大森信弥 廣木美佳 菊地達也 沖元二 根来健一 相原裕之 高橋成一 木内喜孝 下瀬川徹 | 3 期目の投与で抗 TNF α 抗体が奏功しなくなったクローン病の一例. | 第 175 回日本消化器病学会東北支部例会 | 福島 | 7. 5 (2003) |

| | | | | |
|--|--|---|----------|-----------------|
| 佐藤雄一郎 高木承 土佐正規 阿部浩子 持田淳弘 今井 豪 白木 学 野村栄樹 杉村美華子 大森信弥 廣木美佳 沖元二 川端和歌子 松本桂輔 小島康弘 横山大 宇都宮恭子 根来健一 相原裕之 高橋成一 木内喜孝 下瀬川徹 | 局所エタノール散布及び手術を施行した單純性潰瘍の一例. | 第 131 回日本消化器内視鏡学会東北支部例会 | 福島 | 7. 6 (2003) |
| 白井裕子 土肥多恵子 | 炎症性腸疾患における大腸粘膜固有層細胞のリポポリサッカライド (LPS) 応答異常. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 24 (2003) |
| Kawamura, T. Shirai, Y. Yamamoto, M. Furukawa, K. Fujihashi, K. J. R. McGhee. Hayashi, H Dohi, T. | GM1 ganglioside functions as a pattern-recognition receptor to induce functional maturation of murine dendritic cells. | Keystone symposium Dendritic Cells: Interfaces with Immunobiology and Medicine (J7) | Keystone | 3. 4 (2003) |
| Kawamura, I. Shirai, Y. Hamabata, T. Yamamoto, M. Furukawa, K. J. R. McGhee. Dohi, T. | Cholera toxin adjuvant activity is dependent upon GM1-mediated NF- κ B translocation and activation of dendritic cells. | DDW | Orlando | 5 (2003) |
| Urarshihara, K. Kanai, T. Dohi, T. Kawamura, T. Totsuka, T. Iiyama, R. Taneda, C. Yamazaki, M. Nakamura, T. Hibi, T. Aida, Y. Tsubata, T. Watanabe, M. | Ectopic CD40 ligand expression and B cells trigger intestinal inflammation. | DDW2003 | Orlando | 5. 19 (2003) |
| Dohi, T. Kawamura, I. Mizutani, N. Kawashima, R. Shirai, Y. | Macrophage migration inhibitory factor (MIF) regulates lipopolysaccharide (LPS)-induced TNF α secretion in human peripheral mononuclear cells (PBMC). | 第 33 回日本免疫学会 | 福岡 | 12 (2003) |

| | | | | |
|--|--|-------------------------------------|---------|------------------|
| Kawamura, I. Fukunaga, R. Kawashima, R. Dohi, T. | Molecular Cloning And Characterization Of N-acetylgalactosaminyltransferase, An Essential Enzyme For The Expression Of The Sda Blood Group Carbohydrate In Humans. | 第 33 日本免疫学会総会・学術集会 | 福岡 | 12. 10 (2003) |
| Hagiwara, Y. Dohi, T. Yoshino, N. J. R. McGhee Fujihashi, K. | Nontoxic cholera toxin mutated in the carobxy-terminal KDEL of the A subunit elicit mucosal adjuvant activity without intracellular trafficking. | 第 33 日本免疫学会総会・学術集会 | 福岡 | 12. 10 (2003) |
| 河村貴弘 金井隆典 土肥多恵子 種田 戸塚輝治 眞牛原幸治 飯山稜一 山崎元美 櫻場裕一 鏑田武志 渡辺 守 | B 細胞 CD40 リガンド過剰発現によるマウス慢性腸炎の発症と病因. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 24 (2003) |
| 小島 至 | アクチビン・ファミリーによる肝臓の増殖・分化の調節. | 第 10 回肝細胞研究会 | 東京 | 7. 11 (2003) |
| 大澤映美 中島 淳 土肥多恵子 | マウス腸炎モデルにおける発癌. | 第 89 回日本消化器病学会 | 埼玉 | 4. 23 (2003) |
| 山田佳彦 中島 淳 関原久彦 | Dehydroepiandrosterone (DHEA) のアポトーシス抑制作用と長寿における役割 | 第 100 回日本内科学会講演会 シンポジウム | 福岡 | 4. 1 (2003) |
| Fujisawa, N. Osawa, E. Nakajima, A. | Suression of Colon Tumorigenesis By PPARgamma. (ポスター発表) | アメリカ消化器病学会 | Orlando | 5. 18 (2003) |
| Iijima, H. Nagaishi, T. Neurath, M. J. Glickman. Nakajima, A. T. Gallagher. K. Holmes. R. S. Blumberg | Specific Regulation of T Helper-1 Mediated Murine Colitis by CEACAM1. (プレナリーセッション) | アメリカ消化器病学会 | Orlando | 5. 19 (2003) |
| Nakajima, A. A. D. Levine. | IBD Research Forum. | アメリカ消化器病学会 AGA Research Forum 座長 | Orlando | 5. 20 (2003) |
| 松橋信行 中島 淳 | 難治性潰瘍性大腸炎の治療における tacrolimus (FK506) の位置付け— ciclosporin との対比. (シンポジウム) | 第 74 回日本消化器内視鏡学会関東地方会 | | 6 (2003) |
| 中島 淳 永瀬 肇 上野規男 松橋信行 | Chrohn 病の腸管狭窄に対する治療法の選択. (シンポジウム) | 第 74 回日本消化器内視鏡学会関東地方会 | | 6 (2003) |
| 中島 淳 松橋信行 鈴木 淳 | 虚血性腸疾患に対する PPAR γ リガンドによる治療の可能性. (シンポジウム動脈硬化と腸疾患) | 第 66 回日本消化器内視鏡学会総会、 | | |
| 藤澤信隆 米田正人 中島 淳 | PPAR γ による大腸癌の chemoprevention に関する検討. (パネルディスカッション) | 第 45 回日本消化器病学会 | | 10. 16 (2003) |
| 大澤映美 中島 淳 土肥多恵子 | マウス腸炎モデルにおける発癌. | 第 89 回日本消化器病学会 | 埼玉 | 4. 23 (2003) |

| | | | | |
|--|---|---|---------|-------------------|
| Fujisa, N. Yoneda, M. Takahashi, H. Osawa, N. Yoshii, T. Nakajima, A. | Chemopreventive effects of peroxisome proliferators-activated receptor gamma on colon carcinogenesis. | 11 th UEGW | | 11. 1-5 (2003) |
| 山田佳彦 中島 淳 関原久彦 | Dehydroepiandrosterone (DHEA) のアポトーシス抑制作用と長寿における役割. (シンポジウム) | 第 100 回日本内科学会講演会 | 福岡 | 4. 1 (2003) |
| Fujisawa, N. Osawa, E. Nakajima, A. | Suppression of Colon Tumorigenesis By PPARgamma. (ポスター) | アメリカ消化器病学会 | Orlando | 5. 18 (2003) |
| Naganuma, S. Kataoka, H. et al. | Possible roles of novel small nuclear peptide, hepatocyte growth factor activator inhibitor type 2 (HAI-2)-related small peptide (H2RSP), on the differentiation and regeneration of gastrointestinal epithelial cells. | Colloquium for the Study of Gastrointestinal Defense System | Osaka | 1 (2003) |
| 伊藤浩史 片岡寛章 他 | 消化管粘膜上皮再生修復における肝細胞増殖因子活性化因子 (HGFA) の役割 (ノックアウトマウスを用いた解析)。 | 第 40 回日本消化器免疫学会総会 | 東京 | (2003) |
| 片岡寛章 他 | 大腸癌における HGF/scatter factor 活性化機構。 | 第 92 回日本病理学会総会 | 福岡 | (2003) |
| 伊藤浩史 片岡寛章 他 | 消化管粘膜上皮再生修復における肝細胞増殖因子活性化因子の役割 (ノックアウトマウスを用いた解析)。 | 第 92 回日本病理学会総会 | 福岡 | (2003) |
| 山本章二郎 宇都浩文 中西千尋 楠元寿典 田原良博 蓮池 悟 堀 剛 井戸章雄 林 克裕 坪内博仁 | 肝細胞増殖因子 (HGF) のマウス硫酸デキストラン実験腸炎に対する有効性の検討。 | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10, 16 (2003) |
| Suzuki, K. Kawauchi, Y. Watanabe, S. Yoneyama, H. Kawachi, H. Shimizu, F. Aoyagi, Y. | Blockade of interferon-inducible protein-10 ameliorates chronic experimental colitis through blocking cellular trafficking and protecting intestinal epithelial cells. | DDW 2003 | Orland | 5. 20 (2003) |
| Watanabe, S. Suzuki, K. Kawauchi, Y. Yamagiwa, S. Yoneyama, H. Shimizu, F. Kawachi, H. Aoyagi, Y. | Treatment of autoimmune-like pancreatitis in MAIDS mice by a monoclonal antibody against interferon-inducible protein-10 (IP10). | DDW 2003 | Orland | 5. 21 (2003) |
| 鈴木康夫 吉村直樹 齋藤 康 | 重症難治性潰瘍性大腸炎に対する早期サイクロスポリン持続静注療法の検討。 | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 大宮 | 4 (2003) |

| | | | | |
|---|--|---------------------------|----|-----------|
| 吉村直樹 鈴木康夫 齋藤 康 | 重症難治性潰瘍性大腸炎に対するサイクロ スポリン初期投与の検討. | 第 100 日本内科学会総会 | 福岡 | 4 (2003) |
| 中尾圭太郎 鈴木康夫 齋藤 康 玉野井逸朗 今関 等 上島久正 | PIXE 法による腸管粘膜透過性の測定—第三 報一. | 第 89 日本消化器病学会大会 | 大宮 | 4 (2003) |
| 徳政敦子 鈴木康夫 菅原恒美 峯 崇子 森田秀和 星本相浩 中尾圭太郎 吉村直樹 時田健二 勝野達郎 齋藤 康 | Smad 欠損マウス腸炎の検討. | 第 89 日本消化器病学会大会 | 大宮 | 4 (2003) |
| 菅原恒美 峯 崇子 森田秀和 徳政敦子 星本相浩 中尾圭太郎 吉村直樹 時田健二 勝野達郎 鈴木康夫 齋藤 康 | Infliximab 投与が著効し難治性直腸腫瘍の 閉鎖に成功した大腸型クローン病の一例. | 第 65 日本消化器内視鏡学会総会 | 福岡 | 5 (2003) |
| 吉村直樹 鈴木康夫 菅原恒美 峯 崇子 森田秀和 徳政敦子 星本相浩 中尾圭太郎 時田健二 勝野達郎 齋藤 康 | Filiform polyposis を形成し著明な狭窄症 状を呈した潰瘍性大腸炎の一例. | 第 65 日本消化器内視鏡学会総会 | 福岡 | 5 (2003) |
| 鈴木康夫 吉村直樹 齋藤 康 | 活動期潰瘍性大腸炎に対する初期治療とし ての顆粒球吸着療法 of 検討. | 第 23 回日本アフェレーシス学会 学術大会 | 東京 | 10 (2003) |
| 吉村直樹 鈴木康夫 磯野貴史 菅原恒美 森田秀和 徳政敦子 星本相浩 時田健二 勝野達郎 齋藤 康 | 活動期潰瘍性大腸炎初期療法としての顆粒 球吸着除去療法 of 検討. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10 (2003) |

| | | | | |
|---|--|--|---------|---------------|
| 森田秀和 鈴木康夫 磯野貴史 菅原恒美 徳政敦子 星本相浩 中尾圭太郎 吉村直樹 時田健二 勝野達郎 齋藤 康 | 腸管上皮機能における gap junction の役割の解明. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10 (2003) |
| 菅原恒美 勝野達郎 磯野貴史 森田秀和 徳政敦子 星本相浩 中尾圭太郎 吉村直樹 時田健二 鈴木康夫 齋藤 康 | 腸管粘膜上皮の増殖、分化における Connective tissue growth factor (CTGF) の役割の解明. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10 (2003) |
| 勝野達郎 鈴木康夫 磯野貴史 菅原恒美 森田秀和 徳政敦子 星本相浩 中尾圭太郎 吉村直樹 時田健二 齋藤 康 | 腸管粘膜上皮傷害モデルにおける irsogladine maleate の粘膜透過性亢進に対する抑制作用. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10 (2003) |
| Ito, H. Takazoe, M. Fukuda, Y. Hibi, T. Kusugami, K. Andoh, A. Matsumoto, T. Yamamura, T. Azuma, J. Nishimoto, N. Yoshizaki, K. Shimoyama, T. Kishimoto, T. | Effective Treatment of Active Crohn's Disease with Humanized Monoclonal Antibody to Interleukin-6 Receptor: A Randomized Placebo-Controlled Trial. | 104th Annual Meeting of the American Gastroenterological Association | Orlando | 5. 19 (2003) |
| 伊藤裕章 | クローン病に対するヒト化抗 IL-6 レセプター抗体の臨床第Ⅱ相試験—自験例の検討. | 第 40 回日本消化器免疫学会 | 東京 | 8. 8 (2003) |
| 伊藤裕章 | クローン病に対するヒト化抗 IL-6 レセプター抗体の有効性. | MRA クローン病研究会 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10. 15 (2003) |

| | | | | |
|---|---|---|--------|--------------------|
| Ito, H. Takazoe, M. Fukuda, Y. Hibi, T. Kusugami, K. Andoh, A. Matsumoto, T. Yamamura, T. Azuma, J. Nishimoto, N. Yoshizaki, K. Shimoyama, T. Kishimoto, T. | An Exploratory Randomized Trial of a Human Anti-Interleukin-6 Receptor Monoclonal Antibody MRA in Active Crohn's Disease. | 11th United European Gastroenterology Week | Madrid | 11. 3 (2003) |
| 茂木健太 鮫島伸一 澤田俊夫 | 潰瘍性大腸炎に対するBDP注腸療法(全大腸炎型症例に対する工夫)。 | 難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班平成14年度2回班会議総会 | 東京 | 1. 30 (2003) |
| 鮫島伸一 高橋 稔 姜 建宇 古郡大樹 澤田俊夫 茂木健太 小島 勝 長廻 紘 | 潰瘍性大腸炎手術例における術前ベクロメサゾン注腸療法の効果。 | 第5回日北関東炎症性腸疾患研究会 | 前橋 | 2. 14 (2003) |
| 和田博雄 小金井一隆 福島恒男 | Crohn病に合併した痔瘻瘻の3例。 | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成14年度第2回総会 | 東京 | 1. 30-31 (2003) |
| 小金井一隆 福島恒男 | 潰瘍性大腸炎手術後回腸囊炎症例の検討—症状と内視鏡像の対比—。 | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成14年度第2回総会 | 東京 | 1. 30-31 (2003) |
| 杉田 昭 木村英明 山崎安信 国崎玲子 嶋田 紘 小金井一隆 福島恒男 | Crohn病術後緩解維持に対する栄養療法の有用性の検討—プロトコールについて—。 | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成14年度第2回総会 | 東京 | 1. 30-31 (2003) |
| 杉田 昭 橋本秀樹 岩男 泰 木村英明 山崎安信 嶋田 紘 小金井一隆 福島恒男 | 潰瘍性大腸炎手術例の術後QOLの検討—短期経過(SF36)と長期予後—。 | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成14年度第2回総会 | 東京 | 1. 30-31 (2003) |
| 桜庭 篤 佐藤俊朗 岸 祐介 一松 収 江崎俊彦 高石官均 井上 詠 石井裕正 日比紀文 小金井一隆 福島恒男 | 炎症性腸疾患における腸間膜リンパ節樹状細胞の解析。 | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成14年度第2回総会 | 東京 | 1. 30-31 (2003) |

| | | | | |
|--|--|---|---------------|--------------------|
| 竹下 望 小金井一隆 永野靖彦 和田博雄 鬼頭文彦 中村宣生 福島恒男 | 潰瘍性大腸炎に合併した早期直腸癌の1例. | 第10回東日本IBD病因・病態フォーラム | 東京 | 3.29 (2003) |
| Fukushima, T. | Treatment of I. B. D in Japan. | 9 th Binnial congress European council Of coloproctology | Athens Greece | 5.31-6.4 (2003) |
| 小金井一隆 福島恒男 | 潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘、回腸囊肛門(管)吻合術後の回腸内に生じる異常所見と臨床像. | 第103回日本外科学会 | 札幌 | 6.4-6 (2003) |
| 木村英明 杉田 昭 山崎安信 原田博文 国崎玲子 小金井一隆 嶋田 紘 | 重症潰瘍性大腸炎に対する白血球除去療法の治療成績と手術適応. | 第58回日本消化器病外科学会総会 | 東京 | 7.14 (2003) |
| 和田博雄 小金井一隆 鬼頭文彦 福島恒男 | クローン病に合併した痔瘻癌の3例. | 第59回大腸癌研究会 | 群馬 | 7.4 (2003) |
| 杉田 昭 橋本秀樹 木村英明 小金井一隆 福島恒男 | 潰瘍性大腸炎手術例の術後QOLの検討. | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成15年度第1回総会 | 東京 | 7.31-8.1 (2003) |
| 荒井勝彦 木村英明 赤谷美奈子 小金井一隆 鬼頭文彦 福島恒男 | 潰瘍性大腸炎に対する回腸囊肛門管吻合術の合併症. | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成15年度第1回総会 | 東京 | 7.31-8.1 (2003) |
| 赤谷美奈子 木村英明 荒井勝彦 小金井一隆 鬼頭文彦 福島恒男 | 小児潰瘍性大腸炎手術例の治療成績. | 厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」平成15年度第1回総会 | 東京 | 7.31-8.1 (2003) |
| 赤谷美奈子 木村英明 永野靖彦 小金井一隆 鬼頭文彦 福島恒男 小松弘一 | 自己免疫性肝炎から原発性硬化性胆管炎への移動を認めた潰瘍性大腸炎の1例. | 第276回日本消化器病学会関東支部例会 | 横浜 | 9.13 (2003) |
| 木村英明 赤谷美奈子 荒井勝彦 鬼頭文彦 福島恒男 | Crohn病手術例に対する在宅静脈栄養の検討. | 第18回在宅静脈栄養(HPN)研究会 第26回在宅経腸栄養(HEN)研究会 | 大阪 | 10.11 (2003) |
| 福島恒男 | 内視鏡から見た炎症性腸疾患の再燃予測と手術適応. | 第34回日本消化吸収学会総会 | 大阪 | 10.15-18 (2003) |
| 小金井一隆 木村英明 荒井勝彦 福島恒男 | Chohn病の難治性直腸肛門部病変に対する外科治療. | 第58回日本大腸肛門病学会会 | 名古屋 | 11.7-8 (2003) |

| | | | | |
|---|---|--|-----|---------------------|
| 柴田裕達 小金井一隆 鬼頭文彦 福島恒男 | 臍口辺縁切開による肛門膿瘍閉鎖手術症例の検討. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11. 7-8 (2003) |
| 柴田裕達 小金井一隆 鬼頭文彦 福島恒男 | 局所皮弁を用いた人工肛門修正術の 1 例. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11. 7-8 (2003) |
| 木村英明 小金井一隆 荒井勝彦 和田博雄 鬼頭文彦 福島恒男 | 重症潰瘍性大腸炎に対する外科治療の成績. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11. 7-8 (2003) |
| 荒井勝彦 赤谷美奈子 鬼頭文彦 福島恒男 | 炎症性腸疾患の長期経過における薬物治療の問題点. | 第 10 回神奈川県 IBD 研究会 | | |
| Kimura, k. | Surgical Treatment for Severe Ulcerative Colitis. | 第 9 回 The Asian federation of coloproctology | | |
| 橋本拓造 板橋道朗 吉田孝太郎 他 | Crohn 病における手術のタイミングー特に膿瘍合併例についてー. | 第 39 回日本腹部救急医学会総会 | 弘前 | 4. 17-18 (2003) |
| 伊藤幸子 板橋道朗 中澤 哲 他 | クローン病肛門病変に対する外科治療の検討. | 第 39 回日本腹部救急医学会総会 | 弘前 | 4. 17-18 (2003) |
| 松尾真吾 亀岡信悟 板橋道朗 他 | 膀胱出血を呈した多発尿道瘻合併クローン病の一例. | 第 39 回日本腹部救急医学会総会 | 弘前 | 4. 17-18 (2003) |
| 地曳典恵 荒武寿樹 中澤 哲 他 | 敗血症性ショックを来したクローン病による消化管穿孔の 1 救命例. | 第 39 回日本腹部救急医学会総会 | 弘前 | 4. 17-18 (2003) |
| 亀岡信悟 | クローン病に対する外科治療の進歩. | 第 48 回宮城 IBD 研究会 | 仙台 | 6. 21 (2003) |
| 亀岡信悟 | IBD 癌の外科治療と術後のサーベイランス. | 第 5 回マロニエ GI フォーラム | 宇都宮 | 9. 6 (2003) |
| 廣澤知一郎 板橋道朗 島田和加子 他 | 17 年間に当科で経験したストーマ合併症とその対策. | 第 35 回東京ストーマリハビリテーション研究会 | 東京 | 9. 6 (2003) |
| 橋本拓造 板橋道朗 吉田孝太郎 他 | Crohn 病術後再発の予測に perforating type と non-perforating type の分類は有効か?. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11. 7-8 (2003) |
| 呉 兆礼 板橋道朗 島田和加子 他 | 当科における潰瘍性大腸炎に対する外科治療の検討. | 第 58 回日本大腸肛門病学会総会 | 名古屋 | 11. 7-8 (2003) |
| 廣澤知一郎 板橋道朗 呉 兆礼 他 | クローン病 S 状結腸ー膀胱瘻に対する腹腔鏡下手術. | 第 65 回日本臨床外科学会 | 福岡 | 11. 13-15 (2003) |

| | | | | |
|---|---|---------------------------|-----|--------------------|
| 本間陽一郎 亀岡信悟 板橋道朗 他 | Colitic cancer 10 例の検討. | 第 65 回日本臨床外科学会 | 福岡 | 11.13-15 (2003) |
| 末永きよみ 板橋道朗 亀岡信悟 他 | ストーマ周囲のステロイド線条から壊疽性膿皮症を発症した潰瘍性大腸炎を通して. | 第 21 回日本ストーマリハビリテーション学会総会 | 東京 | 2.7 (2004) |
| 金子浩章, 羽鳥麗子 鈴木僚子 羽鳥幸恵 友政 剛 森川昭廣 | 小児潰瘍性大腸炎に対する beclomethasone 注腸療法の内分泌学的検討. | 第 30 回日本小児栄養消化器肝臓学会 | 北九州 | 11.7 (2003) |
| 井上拓也 | SAMP1/Yit 腸炎マウスモデル小腸粘膜における単球/マクロファージ migration 動態の生体観察および接着分子発現の検討. | 日本リンパ学会総会 | 東京 | 2003.6 |
| 井上拓也 | SAMP1/Yit 腸炎マウスモデル小腸粘膜における単球/マクロファージ migration 動態の生体観察および接着分子、ケモカイン発現の検討. | DDW-Japan | 大阪 | 2003.10 |

学会発表

| 発表者 | 演題名 | 学会名 | 会場 | 発表年月日 |
|---|---|--|-----|---------------------|
| 石黒 陽 棟方昭博 他 | 当科での炎症性腸疾患における悪性疾患合併症例の検討. | 第 21 回日本大腸検査学会総会 | 大津 | 11. 9 (2003) |
| Ishiguro, Y. Munakata, A. et al. | The presentation of haptenated proteins and activation of cells in the mesenteric lymph nodes by dendric cells in the TNBS colitis rat. | A NEW YORK ACADEMY OF SCIENCES CONFERENCE ORAL TOLERANCE: MECHANISMS AND APLICATIONS | USA | 10. 23-26 (2003) |
| Yamagata, K. Munakata, A. et al. | Macrophage migration inhibitory factor and activator pretein-1 in refractory ulcerative colitis. | A NEW YORK ACADEMY OF SCIENCES CONFERENCE ORAL TOLERANCE: MECHANISMS AND APLICATIONS | USA | 10. 23-26 (2003) |
| Sakuraba, H. Munakata, A. et al. | Transforming growth factor- β regulates susceptibility epithelial apoptosis in murine model of colitis. | A NEW YORK ACADEMY OF SCIENCES CONFERENCE ORAL TOLERANCE: MECHANISMS AND APLICATIONS | USA | 10. 23-26 (2003) |
| 石黒 陽 棟方昭博 他 | DSS 誘発大腸粘膜障害における上皮細胞アポトーシスの制御メカニズム-TGF- β の役割. | 第 45 回日本消化器病学会 | 大阪 | 10. 16 (2003) |
| 山形和史 棟方昭博 他 | 当科における腸型ベーチェット病と単純性潰瘍の長期経過例の検討. | 第 45 回日本消化器病学会 | 大阪 | 10. 16 (2003) |
| 安井博史 | ヒト大腸筋線維芽細胞からの MMPs および TIMPs の誘導における FGF-2 の役割. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4. 25 (2003) |
| 安藤 朗 | IL-17 活性中和によるマウス dextran sodium sulfate 大腸炎の増悪. | 第 40 回日本消化器免疫学会総会 | 東京 | 8. 8 (2003) |
| 馬場重樹 | TGF- β と IL-1 β によるヒト大腸筋線維芽細胞からの IL-11 の誘導. | 第 40 回日本消化器免疫学会総会 | 東京 | 8. 8 (2003) |
| 安井博史 | ラット TNB 小腸炎に対する n-3 系脂肪酸を含む経腸栄養剤の影響. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10. 15 (2003) |
| 小川敦弘 | マウス慢性大腸炎モデルに対する抗 IL-17 中和抗体の効果. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10. 15 (2003) |
| 荒木克夫 | Clostridium butyricum 培養濾液の dextran sulfate 誘発ラット大腸炎に対する治療効果. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10. 15 (2003) |
| 辻川知之 | 脂肪の質と量を考慮したクローン病の栄養療法. | 第 45 回日本消化器病学会大会 | 大阪 | 10. 15 (2003) |
| 内藤広郎 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥渡 和宏 佐々木 巖 | 副腎皮質ホルモン投与の皮膚の厚さに及ぼす影響—潰瘍性大腸炎手術患者における検討—. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4 (2003) |
| 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 橋本明彦 佐々木 巖 | 病態からみた潰瘍性大腸炎の外科的治療. (シンポジウム 炎症性腸疾患の病因病態と治療) | 第 26 回日本医学会総会 | 福岡 | 4 (2003) |
| 舟山裕士 福島浩平 佐々木 巖 | 炎症性腸疾患に対する腹腔鏡手術を用いた外科治療の進歩. (シンポジウム: QOL 向上を目指した炎症性腸疾患治療の新戦略) | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4 (2003) |

| | | | | |
|--|--|------------------|----|----------|
| 福島浩平 梅崎良則 佐々木 巖 | 腸内細菌起因性炎症の制御と上皮細胞の形質発現. (ワークショップ) | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4 (2003) |
| 柴田 近 内藤広郎 舟山裕士 福島浩平 高橋賢一 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | Ileo-jejunal transposition の消化管運動に対する効果の基礎的検討. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4 (2003) |
| 高橋賢一 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 橋本明彦 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 佐々木 巖 | ストーマ造設術後に妊娠・出産を経験した Crohn 病症例の検討. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4 (2003) |
| 橋本明彦 舟山裕士 内藤広郎 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 小川 仁 上野達也 長尾宗紀 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | 回腸肛門 (管) 吻合後の pouchitis における診断と治療の問題点. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4 (2003) |
| 長尾宗紀 舟山裕士 福島浩平 柴田 近 高橋賢一 上野達也 橋本明彦 北山 卓 西條文人 羽根田 祥 渡辺和宏 松野正紀 佐々木 巖 | 難治性腸疾患に対する長期の在宅中心静脈栄養療法の問題点. | 第 89 回日本消化器病学会総会 | 埼玉 | 4 (2003) |